

第三セクターの改革状況について



浅沼 幸雄 議員
(新興会)

問 平成23年2月に遠野市

第三セクター等地域経営改革実行計画「遠野スタイル自立・連携プラン」が策定されたが、それから約一カ月後に発生した東日本大震災の影響により、改革が予定どおり進んでいないのではと危惧している。現在までの改革状況や、今後の進め方について伺いたい。

答 「遠野スタイル自立・連携プラン」に基づき、現在10団体の改革を進めている。

改革方針では、各団体に

共通して「経営計画・経営ビジョン等」の策定を求めているが、東日本大震災等による影響で取組が遅れており、10団体中、策定済みが4団体、策定作業中が4団体、未着手が2団体という状況であり、全団体策定に向けて作業を進めているところである。

今後は、改革を次のステップに進めるため、各第三セクター等の代表者などで構成する仮称「遠野スタイルまちづくり会議」を設置し、グループ化・有機的連携の構築を図る予定である。

問 新しい中学校における「教育目標」の設定や学校内部の運営計画策定についての進捗状況は。

答 3つの学区ごとの教職員により組織する「新設中

学校運営計画案作成チーム」において運営計画の作成が進められており、9月末には原案が提出される予定である。

問 3〜4校の小学校や中学校から集まる子ども達の融和をどう図るか。

答 子ども達が安心して新しい中学校生活をスタートすることができるところには、学区内における児童・生徒の交流を促進していくことが重要であると考え、小学校、中学校ともに積極的に交流を図っている。

問 中学校再編後の生徒への精神的なサポートは。

答 岩手県教育委員会に対して、スクールカウンセラーの配置、教員定数を超

える加配、学校生活サポート等の県事業による非常勤講師の配置について要望し

ているところであり、今後も更に強力に要望を行っていく。



来春の再編成に向け、工事が進んでいる新生遠野中学校

一問一答
方式